2月12日 土曜日
昭和30年(西暦1955年) 11日発行
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座西3の5

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

第3005号 (昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日國鉄特別扱承認第232號)
(中華郵政台字第637號執照登記為第2類新聞紙類・内政内省証報版内台警字第0136號)

◎天気予報
今晩 北西の風やゝ強く晴、山岳は散雪
明日 北の風、日中やゝ強く朝晩冷える

あすの暦 2月12日・土 旧1月20日
19.1 / 日出 6.32 / 日入 5.18 / 月出 前10.47 / 月入 後8.48 / 満潮 前8.10 後8.35 / 干潮 前1.45 後2.25 (中潮)

4版

首相、あす外相と会談

対ソ交渉・意見調整

引續き谷・杉原協議?

鳩山首相は一週間にわたる九州遊説を終え、杉原民主党外交特別委員長とともに十一日午首相は帰京後根本官房長官から留守中の政情、とくにソ連の政変に伴う諸情勢について…開いて日ソ国交正常化問題について意見調整を行う

この会談ではソ連の政変に伴う情勢分析、これに即応する日ソ交渉方式の検討、全権代表団の人選などが議題になるものと見られるが、日ソ問題をめぐる鳩山首相と重光外相の意見食違いの調整も話合われる模様である

日ソ国交正常化問題については政府は先にソ連の申入れを正式に受諾する回答を発し、交渉地についてもニューヨークを希望する旨を重ねて申入れている、しかしこれに対するソ連側の回答に接しないうちにソ連の政変を見たため、政府としては新事態に即応する態度を早急に決めねばならぬわけだがソ連の政変に伴う情勢分析をめぐって鳩山首相と重光外相との見解の食違いが再び表面化し、政府・党首脳はその調整に心を砕いている、十二日の鳩・重会談で意見調整ができなければ重光外相は十二日夜には遊説に出発し、相当期間東京を空けるので、杉原氏と谷外務省顧問がそれぞれ両相の意見を代表し、間接的に調整を図ることになる

しかし今度の両相の意見の食違いはさきの、終戦宣言を先にするか

鳩山首相

重光外相

外相、閣議で報告

日ソ國交調整問題

重光外相は十一日の閣議でソ連の政変およびこれに伴う日ソ国交調整問題の見通しなどについて六要つぎのように報告した

一、政変前スエーデン公使館から『交渉の速度』などの見解に相違があらわれ、これに感情のもつれらも、その時の記者会見でこれの色はみじんもなく、…

政変気構えにあるとの情報…務省に入っていた、政変…としては権力闘争、政策…どがあげられているが、…ところ新聞報道以上の情報…い

一、日本に対してこんどどうかという問題はまだ観測の…を出ないが、ソ連の態度…に冷却することはあるま…

一、向うの出方は複雑の…

十五日兩社委員長会談

"憲法改正"で聲明發表へ

右社浅沼書記長、加藤国会対策委員長は十一日午前十一時十五分、東京芝桜川町の左社本部に岡田教宣局長、重盛選対副委員長を訪ね十日の右社在京幹部会の決定に基き憲法改正阻止、中ソ国交問題について鈴木・河上両委員長会談を申し入れた、これにたいし左社も同意、十五日午前十一時から院内で鈴木・河上両社委員長会談を開くことを決めた、この日の会見で右社側は両委員長会談で

一、鳩山首相はさきにこんどの選挙で保守党が三分の二の議席をとれば憲法改正を行う意思を明らかにしたが、これを阻止せねばならない

一、中ソとの国交調整について政府は具体策を持たずに交渉を始めようとしていることは遺憾である、政府は速に国交調整の方針を明示すべきである

と右社側の意向を伝え意見を交換した、この結果十五日の両社委員長会談で共同声明を発表、世論に訴えることになった

エリザベス女王、英連邦首相らを招待

エリザベス英女王は二月二日夜、英連邦九ヵ国首相会議の代表らをバッキンガム宮の夕食会に招待された【写真はエリザベス女王を中央に左から同夜列席したハギンス(中央アフリカ)アリ(パキスタン)メンジース(オーストラリア)スワート(南ア首相代理)チャーチル(英)ホーランド(ニュージーランド)サン ローラン(カナダ)ネール(インド)コテラ ワラ(セイロン)の各首相】(CPP=共同)

フリムラン氏受諾

組閣

フリムラン氏

【パリ十日発ロイター=共同】フランス人民共和派のピエール・フリムラン氏は十日コティ大統領との組閣要請を受諾した

選挙パレード

下村海南氏　故尾崎行雄氏　市川房枝氏　野村儀平氏

千円で代議士に

やればできる『公明選挙』

…である、アルバイトをして供託金をつくり、ただひとり街頭演説をやりながら二百六十円の費用(法定選挙費一万一千六百円)で最高点で当選した、内田さんは日本婦人有権者同盟の委員として、数年前から社会啓発運動を続けてきた、選挙スローガンは『市政の様子を皆さんに偽りなく知らせる』ことだった

○…市川房枝女史が周囲から推されて出たのは一昨年の参院選だった、そのとき市川さんは出馬の条件として選挙運動は推せん者がやる、供託金も選挙費用も全部推せん者が持つ、自分は選挙運動はやらない、の三点だった、そして『候補者はペコペコ頭を下げるべきでない』『有権者こそお願いして出てもらうべきだ』というのが人気を呼んで、選挙費用もたった十七万六千八百十四円也、法定選挙費のわずか十分の一で見事当選した

公明選挙運盟でも『市川さんならカケヒキのない計算』と、その金額を認めたという文字どおりの理想選挙であった

○…終戦内閣の情報局総裁や公明選挙連盟の常任理事をつとめた下村海南氏が立候補したのはやはり一昨年の参院選のときである『ぼくが生れてはじめて選挙戦に出たのは、公明選挙が可能かどうか試してみたかったからだ』と、七十八歳の老体にむち打って散票専門に、法定費用を運動員に先渡して戦った、結果は惜しくも落選したが、公明選挙への捨石としての意義は大きい

○…こんどの選挙にも過去五回、公明選挙を標榜して勝ち抜いた数人の候補が立った、いずれも法定選挙費の三分の二以下、なかにはわずか千円で代議士の金的を射とめた人もいる、言論戦を唯一の武器に、自転車を走らせ、なかには『お茶菓子ぐらい買いなさい』と応援の人から半畳が出るほど徹底したものだという、また公明選挙で戦って不幸落選した人も『いかなるものにも犠牲はつきものだ、こんどもこれでやる』と、理想選挙で戦う決意にもえている

安保理14日再開か

周首相、ハ総長に回答

粋人酔事

山谷堀の紙洗橋

先日春らしい暖い日だったので、私は向島方面に杖を曳いた。夕暮近くなったので、浅草でめしを食う計画で言問橋を渡り、待乳山の聖天さまにお詣りして、今戸橋の袂に出た。今戸橋は山谷堀が隅田川にそゝぐ入口に架せられた橋で、むかしは船宿がこのあたりに軒をならべていた。柳橋から出た船は、赤とんぼのように北を指し、この山谷堀の入口に着いた。小唄『梅は咲いたか』にある〽岸から上って土手八丁、吉原へご案内…というその岸は、この今戸橋の岸である。

今は坦々たる舗装道路となってしまった土手八丁を通って大門へ出た。土手八丁というのは、この今戸橋から衣紋坂まで、山谷堀の右岸に築かれた日本堤の土手が約八丁つづいているところから起った名称である。今戸橋の一つ上の橋は聖天橋である。その次の橋は吉野橋で、今は南千住行の電車が通っている。

吉野橋の次の橋は正法寺橋だ。この橋の袂に合力稲荷社がある。端唄『紀伊の国』に〽狐の嫁入お荷物を、かつぐは合力いなりさま…とある、その合力稲荷社である。社殿は戦災で焼け、今は見るかげもない。対岸の正法寺は築地の西本願寺と同じようなインド式の建物で、これは鉄筋コンクリート造りであるから焼けなかったらしい。正法寺橋の上の橋は山谷堀橋で、その次が紙洗橋である。この山谷堀橋と紙洗橋との中間、日本堤の下に袖摺り稲荷がある。袖摺り稲荷のある所は、今は浅草馬道三丁目となっているが、端唄『紀伊の国』には〽頼めば田町の袖摺りも、今宵はさしづめ待女郎…とあるから、この辺がむかしの田町で編笠茶屋がたくさんあった所である。

山谷堀にかけられた橋は、明治以後に架けられたものもあり、橋の名の変ったものもあるが、紙洗橋の旧名が今も保存されていることは嬉しい。山谷堀は今でこそドス黒く濁ったきたない川であるが、昔はきれいな流れであって、こゝで紙をすいた。紙洗橋の名のある所以である。

山谷堀ですかれた紙は、江戸市中で使用せられた。それが浅草紙である。浅草紙はボロを原料として作られたから、粗悪な塵紙で尊…

瀧川政次郎

市況　買気一服

東京株式仲値 □新株落△配当落 (11日前場終値)							
特定銘柄		日本曹	73	三菱化	88	カボン	62
東海上	322	旭電化	80	旭化成	251	三井物	173
郵船	70	三菱造	82	山陽パ	94	第一物	103
新三菱	―	三菱重	77	日本パ	89	白木屋	―
日清紡	―	石川重	109	国策パ	94	高島屋	85
味の素	―	椿工	156	東北パ	112	日活	89
三越	―	東洋ベ	131	大東紡	84	松竹	210
平和不	394	三井造	118	商船	63	東宝	1260
三井金	120	日立造	47	三井船	61	大映	174
三菱鋼	104	浦賀	52	飯野海	53	日清粉	154
日鋼	92	日平	40	西武	358	日麦酒	151
住友金	114	古河電	84	藤田興	221	朝麦酒	171
三菱鉱	54	東芝	75	東京ガ	85	キリン	200
古河鉱	88	三菱電	110	東電	468	宝酒造	86
同和鉱	116	日立製	82	日銀	2220	野田醤	371
住友炭	76	小松製	82	東銀	90	日本粉	124
三井山	71	日本光	180	三井銀	―	昭和産	81
北海炭	71	東京光	50	富士銀	87	東洋醸	94
東邦亜	78	キヤノ	152	日証金	109	合同酒	95
日石	90	日軽金	193	大正海	106	三楽酒	75
帝石	75	東洋紡	137	住友海	127	台糖	196
昭和石	88	鐘紡	139	安田火	135	明糖	111
大協石	160	大日紡	85	千代田	90	日水産	74
東燃	138	日東紡	66	鋼管	75	甜菜糖	146
三菱石	96	片倉	40	日製鋼	89	大阪糖	146
日東化	70	富士紡	106	八幡鉄	70	森永	261
日産化	71	呉羽紡	85	富士鉄	64	明菓	163
三井化	98	東邦レ	105	神戸鋼	78	王子紙	191
東合成	98	帝麻	70	日特鋼	160	十条紙	209
信越化	78	中織	56	日金鋼	63	本州紙	92
協和醗	109	帝人	125	日セメ	138	三菱紙	98
東高圧	107	東洋レ	158	小野田	85	北越紙	52
昭電工	72	三菱レ	121	磐城セ	271	三井不	836
		倉レ	77	横浜ゴ	103	三菱地	530
				旭硝子	144	三井倉	115
				富士写	177	渋沢倉	128
				小西六	114	東洋埠	215

▽安い株＝東寶廿円、東洋工五円

十円牛乳を歓迎

内外抄

浅草の鬼 (78)

浜本浩　栗林正幸画

メンス女給は休業

殺された種村あい子さんもそうだった

"金"より"サービス"本位へ

新宿二丁目の女給殺し事件も、犯人の自首であっさり解決したが、"この事件のお蔭で"といったら殺された種村あい子さんに申し訳ないが、事件以後、女給のお客へのサービスがよくなったという、サービスそのものが具体的にどうのこうのとはいえないが、たとえば泊り客は一人一客制を原則にしたり、生理日の女給は休ませるとか、通い女給の帰宅時間をお客の要望通りにするなど…その反面、お客の人相、服装、特徴などを細かくメモられたり、変った遊びを要求するお客はヒジ鉄をくわすなど、とにかく変ってきたそうだ、そこで新宿二丁目の変り方を、業者や女給、そして利用者などから聞いてみた

一人一客・回し廃止

生れ変った新宿特飲街

生理日

…さんが"通い女給"に、こんどの事件のようなことが…

おとなしい女給でも生理日になると普段と変ってしまって、お客とゴタゴタを起すことが多い

『交番にまで持ちこまれるゴタゴタなどは、女給の方が生理日にあたっていることが多い』

注意するといっている

あい子さんを慶応病院で解剖したところ、彼女はちょうど生理日にあたっていた、女性の生理日は男には考えられないような精神的な変化があるので、目頃…

女給の自覚

自衛に懸命

すぐわかる妻帯者

以後、技巧派はノーコメント

変態客

◇種村あい子さんのログセに『シツコイ客だよ』の一言についてー、実際の話シツコイお客は相当いるそうで、新宿二丁目を利用する客種は

『はっきりした数字には出ていないが、妻帯者の方が少し多いように思う(S氏談)この妻帯者の中に変態行為を強要する者が多いのではないか』

と組合幹部は語っているが、女給たちに聞くと独身者と妻帯者はすぐに判るし、妻帯だから変態行為を求めるとはかぎらないが、やはり妻帯者の方がシツコイのが多いようだ、事件以後はちょっとでも変なことを要求するお客には帰ってもらったという女給もあり、家庭では出来ない変った刺激を求めようとして登楼する技巧派が歓迎されなくなったのも事件の余波の一つである

る、新宿二丁目のカフェー協組と軽飲食協組の両組合では近くサービスについて組合員に何らかの指示を与える予定だ、それよりも

『この事件で女給が自覚をもちお客に接しているから、サービスの点では他の地域には負けるようなことはなくなった』(S氏・軽飲食協組々長代理K氏談)という

盗難防止からも反省

食わんが為には少い実収入

マワシ

◇殺人事件のポイントとみられる"回し"についても、いろいろ反省されている、事件当夜犯人の諏訪利男は"夢の里"のあい子さんのところに十時半ごろ上った、そして"風呂代"も含めて二千三百円払った、しかし、そのうちあい子さんの手に入る金は業者と折半の千百円、失業中の夫をかかえたあい子さんは、十時半からの泊り客だけでは収入が少ないので外に出て客をひいていた、それを利用する客種は

男が二階から見て、やきもきしながら時間のたつのを気にしていたそうである、女給の中には泊り客をほったらかしたまま"回し"をとる者もいるが

『そのお客の了解を求めればよい』と業者はいっている『さばけたお客なら、いいよ、いいよ、うんと稼げ、なんていうお客もいる』

という女給もいた、しかし常識的にいって"回し"を了承する客は少いから両組合ではこれを機会に一人一客制度を敷く業者や女給に要望するという

その理由としては、こんどの事件のようなこともあるし、それよりも盗難防止の点からだそうでお客一人を部屋に置いたままにしていると、女給の金がなくなったり時計がなくなったりするので、一人一客制度を徹底させるといっている

生れ変ってきた新宿特飲街

多すぎる客種

もてる初会客

◇新宿二丁目というところは他の赤線地域にくらべて客足が多いのに女給の数が少ない、そこで、これまでは一人の客に万全のサービスをつくさなくても、いくらでもお客は掴める、という心理が女給の間に拡っていた(新宿カフェー協同組合事務長S氏談)たとえば馴染み客を持っていなくとも、初会の客がいくらでも来るので、かえって馴染み客にしばられたりすることがなくて気が楽だ、という女給もいる、お客へのサービス精神が悪かったがために『今度の事件が起きたのさ』と断言するフラレ客もいる、お客の中にはこの

と業者も警官も語っている、そこで今後は『家庭の事情もあるので強制的に休ませるわけにはゆかないが、なるべく生理日にはお客をとらない方がいい』と女給にすすめている

仲ドン

客の観察復活

◇また公娼制度のときには"仲ドン"がいてお客の人相、服装、特徴などを(もちろん氏名、職業も)メモっておきお客が帰るときには、部屋のあとを調べてなにか無くなっていないかをたしかめたり、フトンのよごれ具合をみたりして必ず相手をつとめた女給に玄関まで送っていかせたが、現在ではすべてお客対女給の取引きだけなので、お客が帰っても店の方で知らないでいることもある

そこで籠の鳥の昔にかえるわけではないが、客への観察を復活させようという声もある

事件以後本気ではないだろうが『サービスが悪いとお前の首を絞めちゃうぞ』などというのも現われ、いわれた女給が本気やら冗談やらと迷って『サービスするわよ首だけは絞めないでね』と頼んだりしたそうだ、ある女給は風邪をひいているのに『サービスが悪いと絞められる恐れがあるから…』と無理してサービス、その結果診療所通いという悲喜劇もあった

花柳界と迷信

遠出詣りは新橋芸妓

願いは同じ"よき旦那"

花柳界に迷信はつきものである、近頃は、白百合だとか、文化学院だとか、大妻だとかーを卒業したような娘でも、芸者になるし、芸者屋の子供が、だんだん上の学校へもゆくようになったから、昔のように無学な芸者はいなくなったが、迷信からは、まだ解放されないようである。

その土地土地でも、一寸お詣りする社や、淫祠はあるが、名の通ったお参り先は、菊屋橋のお祖師さん、巣鴨のお地蔵さん、浅草の観音さん、深川の不動さん、などである。浅草の観音さんは、いずこの土地の者も詣るが、やはり、地元の柳橋、浅草の花柳界の者が一番多い。

両国の国技館の裏に、ねずみ小僧こと和泉屋次郎吉のお墓があるが、ここへお詣りする芸者もある。菊屋橋のお祖師さんは、やはり柳橋の芸者が一番多い。深川の不動さんも、やはり地元の深川花街ーつまり昔風にいえば、巽芸者のお詣りが筆頭。

芳町の芸者は水天宮、烏森の芸者は烏森神社、平井や亀戸の芸者は、亀戸の天神さま、向島の芸者は、牛の御前さま(牛島神社)池の端、湯島の芸者は、湯島天神。神田(講武所)あたりの芸者は神田明神ということになる。新橋の花柳界は、案外遠出するものが多い。赤坂は、地元に豊川稲荷がある。

鏑花の『婦系図』で名高い湯島

彼女達は、いったい何を願いにゆくのであろう。踊りが上手になるようにというのもあろう。三味線や唄が上達するようにというのもあろう。今夜も好きな人に逢えるようにというのもあろう。しかし、人間欲なものので、お金があって、男がよくて、気前がよくらて、そういう全部の揃った旦那さまが出来るようにという、厚かましい願い事が多いようだ。小額の投げ銭で、それを頼まれる神様達もたいへんである。

合わす掌の指の白さに紅梅の影

(蝶)

モダン歳々記

好色将軍家興亡

慶長八年二月十二日徳川家康は征夷大将軍になった。それから二百六十五年目の慶応四年二月十二日には十五代将軍慶喜が上野寛永寺に謹慎して、江戸幕府滅亡の日となった。回り合せの皮肉である。

『人の一生は重荷を負うて遠き道を行くが如し』という東照公の遺訓七ヵ条とともに、彼の後家漁りと女房狩りの趣味も歴代の将軍達がケンケン服膺したことだ。家康は正妻二人と側室九人を持っていて、初めの正妻は関口氏、後のは豊臣秀吉の妹の朝日姫で、これは秀吉が家康と手を握るために佐治日向守の妻になっていた妹を奪い返して家康に向けたのだ。しかも朝日姫は芳紀四十四歳というのだからあきれる他はない。

側室で家康が目をかけていたのは鋳物師の後家の阿茶で、このほかに後家が二人いた。女房狩りで掠奪したのは三河広瀬の城主三宅摂津守正光の妻で、その美人なのを知ると因縁をつけて武力でこれを滅し、さっさと自分の閨房へ運びこんだのであった。色事だけは彼もなかなか思い切って振舞ったらしい。だから綱吉、家宣、吉宗、家斉などの色豪が一門に続出したわけである。ウリの蔓にウリである。

(鮭)

異常犯罪物語

=(6)=

恋人の血を吸る男

昭和十五年も押詰った十二月十日午前一時頃、横浜西神奈川の巡査派出所に、男女二人が駈け込み、人殺しがあると訴えて出た。

男は西神奈川通一の一に住む佐藤咲子(ヨ)さんを世話している、前田登久(ヨミ)さんで、女は同居の山本すが子さんという。

宿直の巡査二名が急いで同家に駈けつけると、戸も何も開けッ放しの家の中は乱雑になっていたが、人影が見当らないので、付近を探すと裏口から約十米程離れた路上の暗がりに、何かうごめくものがある。傍に近よってよく見ると、驚くべきことには、組敷いた女の上に俯伏せになった男が、女の咽喉に噛みついていて、ザクロのように割れた傷口から、ゴクゴクと血を飲んでは、肉を食いちぎってムシャムシャ食べているのである。付近一体は夜目にもそれと判るような血の海、男の着ている白い割烹着もまた血みどろであった。

固くしがみついていた男を、漸く引離すと、顔面は血でぬりたくられ、物凄い形相をしている。女はすでに死んでいたが、着衣ははだけて殆ど裸体となり、噛みつかれているのは前額部や咽喉のみでなく、全身が鋭利な刃物で深く抉られて、全く二た目と見られぬ凄惨な形になっていた。

調べによると男は中区末広町の寿司の板前三浦種男(三九)で、被害者は前記の咲子さんであった。

三浦は三重県桑名の生れであるが、女にかけては異常な性質を持つ男であった。十年に近い年月は、専らカフェー、小料理屋等の飲食店を転々として歩き、その都度店の娘や女将等と関係して問題を起したり、情死未遂を何回も繰返していた。十五年正月竹の寿司に住込むようになって間もなく、寿司を食べに前田さんと来た咲子さんの姿に、三浦はこれ迄にない真剣さで惚れ込んでしまった。

咲子さんは岡崎市の生れ、高等女を出て東京の百貨店、事務員等を勤め、三度結婚したがみな破鏡となり、横浜に来てサロン"夕ばり"に勤めているうちに前田さんの二号となった。三浦の巧みな言葉に乗せられて、前田さんの目を盗み、只一度身をゆるしたのが破滅のもとであった是が非でも一緒になろうとつけ回す三浦を恐れて、逃げ回ってはいたが、あくまで執拗な彼に住所を知られてしまった。

三浦は自分から遠ざかって行くのを知ると益々愛着が募った。この夜板前用の包丁を忍ばせて様子を見に行くと、偶々前田さんが来ていた。その二人の痴態を見せつけられ、三浦は一度に逆上して家の中に躍込み、咲子さんを無理矢理に連れ出し、結婚を迫ったが体よくはねつけられ、ついにこの残虐な犯行に及んだのであった。(木村)

恋流世界譚

…(ギリシャ)…

陸軍将校のホメーロは、最近どうも妻の愛撫に冷淡な素振りが見えるので、留守勝ちの家庭のことゆえてっきり間男でもこしらえているに違いないと、その証拠をつかまえるために一計を案じました

自分の宿直の日をでたらめに知らせておいて不意に帰宅し、現場を取り押えようという算段です。その最初の日のこと、今晩は宿直だといって安心させ、夜の十時ごろこっそり帰宅し、庭に回って寝室の窓下にしゃがみこみ、息を殺して室内の様子をうかがったところ、案の定、誰かと一緒にいる妻の話し声が聞えてきます。

『ダメよ、そんな。わたしが一人だと思ってそんな無理なこと。ひょっとしたら今晩帰ってくるかも知れなくてヨ、ネ。おとなしくして、ネ。アラ、ダメッたら、そんなとこに手を入れて…』

堪らなくなったホメーロが窓を破って押入ると、十歳になる長男が、厳格な父の留守を幸いと、明日の休みの小遣いを母にせがみ、金庫から無理に金を取ろうとしているところでした。

あすの運勢

=二月十二日= 高島易断 (三)

▲一月生ー機運に乗って躍進し堅實に努力すれば利達繁昌家内平和
▲二月生ー悲観も消えて次第と晴れやかに進展に向う移轉旅行大吉
▲三月生ー物事円満をかき斤寄り運せず他人の事で損失する事あり
▲四月生ー何事も大雅量を以て満潮合せ呑むの気概あれば目的叶う
▲五月生ー大事は調い難く小事は調う静かに徐々と進むに利多き也
▲六月生ー虚勢を張って自己を誤り損をするなり酒色の道を慎しめ
▲七月生ー浮沈はあるも一心に努力し倦むことなきは目的叶うなり
▲八月生ー目先きの利を計りて有利なり稼業商賣繁昌あり交渉纏る
▲九月生ー奸人の好餌となり迷うて他動的に迷惑を蒙り易い移轉凶
▲十月生ー所信を敢行してその目的を達する然し分限を越しては悪し
▲十一月生ー周囲の情勢は円満に有利に至る進展を計り面目改新吉
▲十二月生ー何となく気分重く浮き立たぬ稼業に少しさわり有なり

今晩のラジオ 11日(金)

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷日本お話の旅『串柿仙人』 25 物語『オテナの塔』	00 医学の時間桑島治三郎 30 この頃の科学ニュースから 解説 崎川範行	10 劇『こんちは横丁』 25 私が買いましょう 55 スポーツ・タイム	00 劇『すずらん太郎』 15 バンド・タイム 45 スポーツ・ニュース	00 劇『ポツポちゃん』 20 時代劇『銀蛇の窟』 35 歌謡百貨店
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 ジローさよなら演奏会『小さな靴屋さん』ほか	00 名曲鑑賞 組曲『カルタゴのトロイ人』 30 歴史の窓から『江戸八百八町』島田雄次郎	10 録音ニュース 20 唄ごよみ 唄市丸 30 エンゼル・タイム 司会有島一郎 三味線豊吉	00 録音ニュース 10 歌・宇都美清 小畑実 30 三つの関所 司会今泉良夫 田中明夫ほか	00 ラジオ夕刊 20 今日もまた 内海突破 30 ジャズ・ホール 歌沢村みつ子 小林照子ほか
8	00 落語二題❶ねぎまの殿様❷自転車 古今亭今輔 40 日本の町 安来市(島根県)地元連中	05 教養特集 録音構成『日本の袋小路』ーデフレ下の労働市場ー 国民経済研究協会 松尾均他	00 オルケスタティピカ東京 歌藤沢嵐子ほか 30 歌のカーニバル 雪村いづみ 高島忠夫ほか	00 歌謡学校 二葉あき子 藤村一平 安田忠緒ほか 30 のど自慢二つの歌 司会柴田早苗 三好一義他	00 ニセ黄門漫遊記 ❷ 清田陽一 森島隆史ほか 30 劇『江戸三国志』月丘千秋 徳大寺伸 影山泉
9	00 ニュース解説館野守男 15 劇『林郷の歌』七尾伶子 巌金四郎 坂本和子 名古屋章 鎌田弥恵ほか	00 ラジオリサイタル❶弦楽四重奏曲変ロ長調『狩猟』モーツアルト❷チャイコフスキーの四重奏曲	10 狐侍一代記 榎本健一 小林和男 須藤健ほか 35 日本民謡集 唄小梅 秋田おばこ 米山甚句他	00 歌謡曲 真木不二夫 楠トシエ 白根一男ほか 30 ❶漫才 道雄・一歩❷落語 百生	00 浪曲玉手箱『川上音次郎』強情一代 春日井梅鶯 30 十郎・雁玉捕物帖『ニセ者罷り通る』雁玉ほか
10	15 おかめ八目 今日出海 永井竜男 林房雄 40 音楽の地図木村伊兵衛	00 ❶初級世界史 青山吉信❷上級解析池原止戈夫 45 気象通報	05 きょうのニュースから 15 劇『愛の花束』森雅之 30 ミュジツクアラベスク	00 和文英訳 JBハリス 30 解析(I)魚返正	00 劇『裸一貫』滝沢修他 15 歌謡曲 新倉美子ほか 50 俗曲 檜さび 駒しのぶ
11	20 ❶明日の話題❷随筆『地方の二十代』哀草果	00 録音ルポ『苦しい二月ののり切り策』	10 安楽椅子 村松梢風 奥野信太郎 武田泰淳	00 録音構成千円の人生 30 リストの巡礼の年報	10 ものいわぬ女たち 40 ラク町の女達 笠置
あすの番組	7・45 朝の訪問 杉浦非水 8・05 イダヘンデルの提琴 8・30 選挙の歴史野村秀雄 9・15 歯の矯正 杉山不二 9・45 青いノート 木崎豊 10・05 けさの話題松宮克也 11・05 童話『なぜでしょう』 11・15 朗読『愛情について』	8・00 季節の花 寺崎広範 8・30 ショパンの円舞曲集 9・15 学校放送国語◇音楽 10・00 学校放送低中高学年 11・30 世界の動き藤瀬五郎 12・30 立体音楽堂 1・00 名曲キャビネット 2・00 若手演芸会落語四題	8・20 ラジオ・スケッチ 9・45 奥様への十五分 10・10 吾輩はネコである 11・45 歌・平野愛子ほか 12・15 落語『ふだんの袴』 12・30 原孝太郎と六重奏団 1・05 歌・若原一郎ほか 1・30 講談『やりくり半次』	8・25 劇『ミナモトさん』 9・00 歌謡曲◇株式市況 10・40 劇『君ひとすじに』 11・35 劇『東京の人』 12・00 お笑い処方せん 12・30 頭の体操◇歌謡曲 1・15 浪曲◇歌謡曲 2・00 生活をみつめて	7・35 放送論壇 加瀬俊一 8・10 劇『おとこ大学』 8・45 お好み歌謡曲 9・00 劇『サザエさん』 9・45 歌とお話井口小夜子 10・00 きんぴら先生青春記 10・45 サラリーマンの服装 11・00 連続劇『胡椒息子』

★NHKテレビ★ 6・10 音楽のアトリエ 6・40 新しい中国 古い中国 吉川幸次郎 7・15 マジソンスクエア・ガーデン 7・45 ジェスチユア 8・15 劇『早春のうたごえ』長島丸子ほか

★日本テレビ★ 6・00 どんぐり日記 6・15 写真講座 6・30 歌のアルバム 6・45 漫才 7・30 シルエットクイズ 8・00 映画『路傍の石』片山明彦 山本礼三郎 瀧花久子ほか

浪人街道 (65)

木村荘十 作
野口昂明 画

陋巷の人 (六)

美代吉は水天宮の近くまで来ると、駕籠から下りて啓之助に寄り添って歩いた。

他人に見せては、危ない啓之助…役人の眼を盗んで、江戸に潜入している啓之助と知りながら、妹芸者若吉の住居まで、その僅かな道でも一緒に歩きたい美代吉であった。

啓之助は、そういう美代吉の捨身な大胆さが、抱きしめてやりたいほど可愛くもあり、後先を考えぬやり方が、不安でもあった。

美代吉の好意をいいことにして後々までも迷惑をかけてはならぬとも反省するのであった。

(この女を、不幸にしたくない)

そんな心づかいが見よう見まねの頬かむりもさせるのだろう。手拭を頭からかぶって顔を包んだ。

美代吉は、きのうまで旗本のお歴々だった啓之助が、住みなれた江戸に身の置きどころもなく、そんなことをするのを見ると、身を切られる思いだった。

美代吉は、あの晩、自分が屋根船で川向うへ送らなかったら、こんなことにはならなかったと、思い込んでいた。

というのは、この夏、書院番の若侍や、西の丸の小姓組の者が三四人、隅田川で水練の稽古をすると船を出し、芸者を乗せて酒を飲んでいて、その中の杉原七十郎が酔って溺死したことがある。

それが評定所で調べられて暴露した時、生き残った三人も士籍を取上げられている。

その時の齋首に『船に酔い、酒が杉原七十郎、七百石を川へ進物』というのがあった位で、啓之助の場合も、芸者と屋根船で出て人を斬ったということが、許し難いとされていたからである。

『まァ、浅さまが、頬かむりなど』

『誰に逢わぬものでもない。まァ要心が第一だ。見つけられたら、そなたにも迷惑をかけるからな』

『でもまァ、その手拭のかむりようは。権兵衛の種まきではあるまいし、頬かむりはこうなさるもの』

美代吉は、啓之助の手拭をとってかけ直し、鼻の先できゅッと結んだ。

『よう、ようご両人』

はっと驚いて振り返る二人の前に、泳ぐように出て来たのは、夜目にも派手な、うぐいす色の羽織を片袖にかけた坊主頭、浮雲亭狂斎である。

『あれ』

『おっと、ここは水天宮裏の芳松、今夜は旗本のお歴々がお忍びの寄合、いきな道行なんぞの出場ではご座らぬ』

『なに旗本が』

『こうれ』

芝居がかりでいうなとおさえて狂斎は、二人においでおいでをしながら露路へ曲った。

啓之助と美代吉は、急いで狂斎の後を追った。

狂斎は、露路を通りぬけて、角の小じんまりした茶屋の裏口から二人を庭の離室へ案内すると、

『美代吉、なんでこんなところへ ご案内したのだ』

と叱ったが、美代吉から事情を聞くと溜息をついて、

『わしが考えた通りだった。お前には気の毒だが、当分浅香様にお逢いするのは遠慮しなさい』

といった。

『いいえ私は…』

『いいえ? それでは浅香様がどうなってもいいというのか。浅香様は大変な奴に命を狙われているのだぞ』

高級車40台不正輸入
中國人をふくむ30名送検

外国製高級車四十台、約一億五千万円にのぼる不正輸入事件を捜査中だった警視庁防犯課経済係では、十一日までに港区赤坂溜池三〇八洲自動車株式会社＝社長梁瀬次郎氏(三七)＝港区芝浦一の三五梁瀬自動車株式会社＝社長佐藤喜美治氏(六〇)＝の両会社を外国為替管理法違反の疑いで書類送検、目黒区目黒四の三三七梁瀬自動車輸入部長青木節一(六〇)大田区雪ヶ谷四三六同社輸入部業務課長熊谷茂(三三)豊島区雑司ヶ谷二の四七八八洲自動車営業部長森田進(五六)港区麻布市兵衛町二の五二貿易商羅済文(三七)目黒区上目黒六の一二九同厳紹光(三〇)同厳紹華(三七)兄弟ら卅名（中国人廿六名）を同容疑で身柄送検した

調べでは梁瀬自動車会社はニューヨーク市のゼネラルモータース会社の日本代理店として営業を続けていたが、さる廿七年五月ごろ外貨の割当が少くなったのを補うためゼネラル会社と交渉、在日外人が通産省に申請して無為替の輸入許可による外車の輸入業務を取扱うことになり、同年七、八月ごろから英字新聞や雑誌などに広告、厳紹光ら九名の在日外人からキャデラックなど外国高級車の無為替輸入の注文を受けた、この場合客が直接ゼネラル会社に支払うべきものを梁瀬会社がその代金や契約金の米ドル小切手十五枚（額面二万二千六百ドル）を預り、法定期間（十日以内）には外国為替銀行にドルを売却する規定を無視してこれらドル小切手を航空郵便でゼネラル会社に送っていたもので、この方法により十台の高級車を不正輸入、二百五十八万円の不当利益を得ていた

八洲自動車会社も同様手口で十二台の高級車を不正輸入、百十万円の不当利益を得ていた

羅済文、厳紹光らは一年間は他に転売してはならないという無為替輸入の法律に反して三月位で一台五十万円から八十万円位の水増しで他に転売していたもの

メイコさんにっこり
人氣女性NO.1表彰と讀者投票授賞式

本社主催一九五四年度全日本各界総合"人気女性選出"読者投票は既報のように声優中村メイコさんが五二七一八票を獲得、第一位に入選したが、十日午前十時半から本社社長室で当選者と投票入選者に賞状賞品の授与式が行われた

◇最高位の中村メイコさんに投票した読者の中から抽選で選ばれた一等川瀬朝子さん(四三)＝杉並区荻窪二の四六＝はじめ五百名の読者はミシン、自転車、カメラ、ラジオ、ギター、オルゴール、洋傘など数々と品が手渡された、また同日午後六時半最高位の人気女性の栄冠をかちえた中村メイコさんが増井支配人と共に来社、蔡本社々長から賞状と『最高人気女性賞』として人形作家川崎プッペ氏製作の豪華な『メイコ人形』と副賞『名入れオルゴール』が贈呈された

◇…当選の喜びを顔中にあふれさせてメイコさんは

内外タイムスで人気投票の日最終得点が発表された一月の末に私のところにヒッキリなしに電話がかゝってきて『おめでとう』『おめでとう』といわれました、予想もしなかった最高位に驚きました、中には真夜中頃に新聞を見て電話をかけて来た知らない方にお祝いをいわれましたが、どうもお酒をのむ所かららしかったです、私を声援下さる方々の御期待にそむかぬよう今後ますますしっかりやってゆきたいと思います

と語りにっこり笑った

【写真はメイコ人形を前に当選の喜びを語るメイコさん(右)と蔡社長から賞品を受ける一等当選の川瀬朝子さん】

午後から强風

中央気象台は十一日午前十時次の強風注意報を発した

弱い低気圧が関東沖にあって発達……

このため東京地方では北または北西の風が昼前後から強くなり今晩遅く一時弱まるが、あすの日中また強くなるだろう、最大風速は陸……

拳銃賣り米兵逮捕
二人組 約束の場所密告で

丸ノ内署では十日午後九時十五分ごろCIDと協力、羽田航空隊一等航空兵ウィリアム・J・カンヤーズ(二四)、同三等航空兵ジェサス・アルペリアス(二〇)の両名を銃砲刀剣不法所持現行で逮捕した、調べでは九日夜千代田区丸ノ内一の六先路上を通行中の台東区浅草千束町二の二二二無職野中俊さん(三)に『コルト拳銃を二万五千円で買わないか』ともちかけ、翌十日午後八時ごろ同所で落合う約束をして別れ、野中さんはその足で丸ノ内署に密告、同署で張込み中同時刻ごろ米軍大型トラックに乗った両名があらわれたので逮捕した

群衆から野次
"公約を守れ"
新宿で街頭討論

あと一週間に迫って選挙戦の十一日午前十一時から新宿駅西口広場で、四大政党討論会が開かれた、自由党永健司氏、民主党川島正次郎氏、右社三輪寿壮氏、左社勝間田氏の四代表がまずマイクの前で党の主張を力説、終って多数の有権者から公約を守れ、税金を安くし、もっと住宅を手にする具体的方策をなどの討論が行われた【写真は新宿駅西口での街頭討論会】

捜査難航の運転手殺し
逆井さん早くも初七日

暗い社会の風にさいなまれてか、きのうもきょうもと凶悪な自動車強盗が連日のように発生、文字通り"運転手恐怖時代"である最近の事件だけでも去る五日夜には千代田区神田錦町一の二五ニュートオキョー・タクシー運転手逆井勇さん(二七)が池上で刺殺され、二日過ぎた七日夜には千葉県行徳町で足立区小台門町二の四藤栄自動車会社の運転手竹井決次さん(四)がピストルで頭部を射たれ殺された、この種事件は殆ど犯行場所が犯人の乗車地点から離れているため捜査に困難を来している、中

柱を失った幸福一家
"何の恨みで……殺すなんてあんまり"
泣き崩れる身重の若妻

でも逆井さんは昨春結婚したばかりでありきょう初七日を迎え残された妻の知恵子さん(二七)は身重な体（四月出産予定）をかゝえながら『生れてくる子のために片輪になっても生きていて欲しかった』と途方にくれる姿に近所の人人の同情を集めている

逆井さんは都内葛飾区亀有に生れ昭和廿二年、下井草の帝都青英中学を卒業後、廿八年一月現在のニュートオキョー・タクシーに入社した、明朗な性格は会社でも評判がよく、稼ぎ高も社内では常に一、二位の好成績であった、妻知恵子さんとは恋愛結婚であり、昨年春知恵子さんの実家杉並区上高井戸四の一四四四植木職秋元仙太郎さん(五〇)方に愛の巣を営んだ

殺された五日午後一時半ごろ虫の知らせか、珍しく家に立寄り（こんなことはかつてなかった＝知恵子さん談）赤ん坊の下着を縫っている知恵子さんに『生れる子供の顔を早く見たい、男だったら自動車の運転は覚えさせるが危険な運転手稼業をさせたくない…』とポツリ言葉を洩らしたという、あれが今生の別れになるとは…と知恵子さんはエンジ花模様のお召の袖をふるわせ泣き崩れるのであった、部屋には変り果てた夫の姿が同僚から贈られた花束の中に飾られてある

『私の両親と一しょにいても勇は一家の支柱でした、弟(一四)＝区立高井戸中一年生）の面倒もよくみてくれました、どうしてこんなことになったのでしょう、夫は剣道三段で体格もよかったのですが常々自動車強盗にあったら金はおとなしく渡してしまうよといっていましたのに何の恨みがあって殺されなければ…生れてくる子供が可哀そうで…』と夫の写真をみて涙に眼をぼらしていた

仏前に手を合せる未亡人知恵子さん

表藝妓屋、裏ポン窟
王子の三業地に手入れ

赤羽署で十日夜北区豊島町一の三〇王子三業内無職菅沼庄一郎方をヒロポン密造の疑いで家宅捜索、同居人無職村松清(二七)同小島きくえ(三〇)の両名を同現行犯で検挙、ヒロポン液一万二千CCを押収した、調べでは同家は塀で囲まれ芸妓置屋らしく装いヒロポンを密造埼玉、千葉方面に流していたもの

錦ヶ浦で老夫婦が心中

【熱海発】十一日午前十時ごろ熱海温泉和田浜大野屋旅館に投宿中の東京都杉並区天宮前六の三七七福泉はなさん(六〇)と横浜市神奈川区旭ヶ丘三六安井つるさん(六〇)が旅館に帰らないと届出があり熱海署で調べたところ、同時刻ごろ熱海錦ヶ浦一本松の根元に桐の駒下駄一足が揃えてあり、旅館で同女らの持物と確認したので投身心中を遂げたものと判った

女を刺殺し自害 未遂
鎌倉八幡宮境内で
邪戀清算の心中

【鎌倉発】十日夜九時四十五分ごろ鎌倉市鶴ヶ岡八幡宮社務所の台所に血まみれの男が転がり込んできた、家人が鎌倉署に急報、同市六町佐藤病院に収容したが、男が『境内で女を殺してきた』と自供したので、本殿裏をさがしたところ、十一日朝下腹部を刺された女の死体を発見した、男は大阪府岸和田市宮本町二〇三自転車商中本勇(四〇)、女は一年前まで神戸市長田区貝塚元特飲店『竹家』接客婦豊子(三七)で、邪恋の清算と見られる、男はノド、腹を刺して重体

競輪狂が服毒自殺

十一日午前零時十五分ごろ国電新橋駅西口広場で港区芝佐久間町一の五五慈恵医大病院小使渡部徹夫さん(三〇)がブロバリンを飲み苦しんでいるのを通行人が発見、東京病院に収容したが間もなく死亡した愛宕署の調べでは渡部さんは競輪、競馬にコリ、さる九日川崎方面から集金した金を使い果し同病院に帰ることが出来ず自殺したものらしい

人夫誤って轉落死

十一日午前三時半ごろ国電上野駅構内新設十一番線ホームの橋梁作業中の千代田区丸ノ内一の二横河橋梁会社の人夫坂本三郎さん(五二)は高さ七尺の橋梁から誤ってホームに転落、頭を打って即死した

欠席兒童八千人
流感更に猛威

都内のインフルエンザは十日に新しく三小学校で学童が集団欠席、なお拡がる傾向を示している、これで都内の集団欠席は四十五校（内中学校一、幼稚園一）で、欠席者は七千九百九十六名にのぼっている、都インフルエンザ臨時対策本部は十日ワクチン一万人分を各保健所に準備予防接種を行ったが、十一日は新たに三万人分を用意一般希望者に接種を行う

迷路ガイド
解答 志村巽

恐らく子種はない
副睾丸炎に罹った未婚青年へ

【問】廿五歳の青年です、いつか私と同様の悩みを持つ人の相談が出ないものかと待っていましたが、急に三ヵ月後に結婚がきまり、恥かしさも忘れペンを握った次第です、それというのは私は結核性副睾丸炎に罹り、右の睾丸全部を除去されてしまい、残された左も副睾丸が破裂して、膿のようになって外部に出てしまいました、今ではその傷は治りましたが、本睾丸一つしか残っていない有様です、現在肺結核にかゝっておりますが、ストマイなどを用いた結果だいぶよくなりましたので、睾丸の方の結核菌も死滅したと全く同じものでしょうか、同じものならば私も父になることができるのですか、結婚を間近に控えて日夜悩んでいます（中央区京橋・Y生）

【答】結核性副睾丸炎で左右の輸精管はおそらく閉鎖されてしまっているものと考えられます、ですからあなたのザーメンのなかには多分精子はいないはずです、精子というものは睾丸で作っているものです、だからどんどん精子は作られるのですが、輸精管が閉っているので精子は出てこられないわけですし、出来た精子は時間が経つと死滅してしまいます、お気の毒ですがあなたは子供さんを得ることはできないと申上げるよりほかありません

なお精子を作っている細胞とは別に性ホルモンを作っている細胞がありますから、精子がつくられなくてもホルモンの分泌には関係ありませんので……

ファッションモデル養成所(21)
新東京マンガ風俗地図

半日をワンステージで買われる。つまり午前と午後と二回出場すると、ツーステージの勘定。ワンステージは千円、それとに洋服を一着きるごとに三百円増、仮にワンステージに洋服を五着きせられて舞台に出たり入ったりするだけで千五百円、計二千五百円の収入と相成る。しかしピンとキリがあって、ピンの方は月収卅万、キリのほうは三万円。

以上のような予備知識をもって、代々木山谷の文化服装学院の中にあるモデル学校をのぞいた。一回に二千人から応募があるが、採るのは卅人。三ヵ月卒業で月謝三千円。

『五尺一寸以上あれば学歴未婚既婚を問わないです、年齢も十四歳から四十歳のオバチャマまで、いや、オバチャマだって用途があるんですよ、四十代のご婦人用のファッションにはやっぱり四十代のモデルでなきゃ実感が出ませんからなあ

猫もシャクシも洋裁ばやりでファッションモデルは引ッぱりダコ。現在第一線モデルは百五十人いるそうだ。いったい、キレイなオベベを着せられて、シャナリシャナリ歩くだけで、どのくらい収入があるんだろう。デパートや洋裁学校でファッションショウがあると、モデルは

だろうが、オカマイなく入学させて、法外な月謝をとってアトは責任も持たず放りだしますが、当校はチャント就職のアッセンをします。もっとも生徒のほうでは学科よりもアッセンのほうに重きをおいている者がナキにしもあらずですが』

『いえ、それだけに困るんです家へ帰るとヤタラ現実の哀れさが身に沁みて』

と先生は頭をかく。生徒さんはワーッと笑う。モデルの生命はいいとこ三年だそうだ。

『それでもいい商売ですよ、靴でも洋服でも商売用に買いますが、お嫁に行っても役に立つでしょ、商売道具が生活の役に立つなんて商売がホカにありますか、それにモデルで華やかになると、いいとこに嫁にいけるんですよ、薬屋のオカミさんにならなきゃいけない娘が、病院長の奥さんになった、なんてのはザラですからナ誘惑ばありますよ、スポンサーあっての商売ですからな、スポンサーの重役から酒席に招かれることがあったりして、転落する娘もありますがネ、まあ、一度でも身を崩したらもうダメですよ』

身をモデルのがモデルの身上ということらしい。

ザラにある"玉の輿"
収入はピンからキリ……

入学試験はお顔とか着ているものの趣味とか、水着にして体格、スタイル口答試問等で採決します。うちでは営業でやっているんではありませんが、世間にはインチキな学校がありますからご用心ください。そういう所は受験料をとり、豚娘だろうが、大根足

と先生に説明されながら教室へ一扉をあけたトタンにプンといい香料の匂いが鼻をつき、さすが粒よりのキレイどころを集めただけに色とりどりの花がフワーッと目を射る。

『いいですなあ、先生ぼ』

えと文 森比呂志

【大井】

第二回大井競馬（昼間二回）は十一日から六日間午前十一時開催される、今回中央競馬からサラ八頭アラブ八頭という多数の新参加を見たが、これらの今後の活躍は注目される……

オートレース

川口市営第……川口オートレースは十二日から十七日まで連日開催される、今回は開設……年記念レースとして"お好み"戦が第六日十レースに行われる……

続 情炎の千代田城 (25)

岩崎栄　寺本忠雄画

敵情(二)

ものの気ないにぱッと、うしろを振りかえって腰が浮きかけたところを、お辰が飛びかゝって片足を、

『このヤロウッ』

力まかせに引上げたから、

『あッ』

床几もろとも、仰向けにドサッと引っくり返ったが、それでもさすがに刀を抜いて立ち上った。

お静の動きはしかし、それよりも一瞬早く、小太刀の鞘ぐるみが、ピシイッと小手を打って、その刀を払い落した。

『うッ』

そのときまた、うしろからお辰が、床几を両手に跳り上がって、

『コンチキショウめ』

後頭部を、グワァンというほど殴りつけた。

『ざまァみろ、フンだ』

『どういうけんとうだね』

お静がこのとき、

『叱ッ』

パッと片手をお辰の口に突き出して、外の廊下に聞き耳をたてた。

足音が、入り乱れて、二、三人もが駈けてくるようすだった。

お静が立ち上って、部屋の灯を吹き消すと殆ど同時に、入口の扉がゴトゴトと開いた。

『や、まっ暗だ。こゝは』

別の声で、

『まて…』

一人が入って来て、

『松尾ッ、おい松尾氏!』

お静が、鼻にかゝった太い声で、

『うん』

寄って行った。

『八百屋の伜のやつが、バカなあばれ方をして居る。早く来てくれ』

『よし、どこだ』

『?』

そしてお静に抱きついた。

『おばさん!』

お静も抱きしめた。

『あ、よくおまえ…ヒィーッ』

おばさんは子供みたいに、ワァワァと泣いてしまった。二人の足もとには、大御番の与力と名乗ったやつが、丸太ン棒のように伸びている。

『うちは、うちはみんな、どうなんだい、お静ちゃん』

『まァ、いろいろとあるのよおばさん。さ、こゝに腰かけて』

お静はそッと腰をかけ、伸びているやつの足のところに

『おばさんもどうぞ、ゆっくりかけてね』

『そうかい』

お辰は男の顔の上へ、ドサッと尻を投げつけて、

『ヘン、女のいしきに敷かれやがって、とんだヤアトコセエだよ。ざまァないや』

泣いた顔で啖呵を切って、

『ときによォ、うちの方はどんなだい』

『大変よ、それがおばさん』

『どうたいへんなんだい、早くお聞かせな』

一ぶしじゅうをお静から聞いてしまうと、これがキョトンとなって、

『一たいどういうことなんだい、お静ちゃん、これは』

『さっぱりわからないの、何がなんだか。でも、木人先生には、うすうす見当がついているらしいの』

女の声だからフッと警戒したらしい。一歩退がりかけたのを、お静が突っかゝって、ブスリ…とやった。

『王将一代』撮影開始 ‖新東宝で製作‖

新東宝では新国劇の当り芸『王将一代』(原作北条秀司)を二月下旬撮影開始する、監督伊藤大輔、出演が新国劇と木暮実千代、香川京子で最初前後篇の予定であったが一篇にまとめられる

映画やぶにらみ　ここに泉あり

☆…中央映画作品

☆…敗戦後の混乱のさ中、高崎市にペンキ屋の親爺や医者、美容院の亭主、薬屋の息子などが集ってささやかな交響楽団が生れた、マネジャー(小林桂樹)はこれを一流の職業交響楽団に仕立上げ良い音楽を大衆の中にまで持ち込みたいと夢見ている、東京から一流のバイオリニスト(岡田英次)も呼んだ、そして食うものも満足に食わず激しい移動演奏が始まる―高崎市に実在する群馬フィルハーモニー交響楽団をモデルにした水木洋子の脚本で、この楽団が様様ないざこざや、苦労の末見事に成長するまでを、幾つかの名曲を添えながら軽く描きあげている、演出今井正

☆…三時間余りの長尺だが『ロザムンデ序曲』を最初に『カルメン抜萃曲』『フィガロの結婚序曲』『ピアノ協奏曲第一番』『第九交響曲』など廿近い名曲の演奏シーンを採入れたことは、いままでの日本映画には試みられなかった事だ、そういう意味だけでもこの作品の価値は大きく評価されよう、とはいってもこの物語には音楽について肩ひじ張った"高邁"な理想がのべられる訳ではない、生活苦からの夫婦別れもある、チンドン屋のアルバイトをやった事をめぐって仲間内で掴みあいの喧嘩もくりひろげながら、楽団員達が音楽への愛情に生きぬいてゆく姿が非常に明るくユーモラスなタッチでつみ重ねられている、それだけにまた大きな感動も素直ににじみ出ていて、らい病患者の慰問シーンや山奥の炭焼き達を相手に馬子唄など聞かせるあたり特に美しいなと感嘆させられる、欠点がないとはいえないが本当の意味で音楽映画と呼ぶにふさわしい作品が、こゝに初めて誕生したといっても過言ではあるまい、特別出演の山田耕筰氏が素人ばなれした味を示しているのと、小林桂樹、三井弘次が特に好演で光る(静)

【写真はその一場面、手前右が山田耕筰氏】

ロケは花ざかり ⑤

もてない沢田一座

"晴天"続きにも裏方動かず

播州赤穂へ行くと、一番人気のあるのが阪東妻三郎なんだそうだ、続いて大河内伝次郎、片岡千恵蔵、長谷川一夫というのだが、これは全部『忠臣蔵』の人気からきているから土地柄とはいえおそろしいもんだ、この反対に、三州吉良に行くと会然上野介に同情が集るそうだし、吉良の仁吉なんておアニーさんは、まるで英雄になるというようなものだ従ってこの赤穂では、いついかなる時でも映画館に『忠臣蔵』をかけさえすればたちどころに満員で大入袋疑いなしというのが常識になっている、現在この土地は製綱会社のホームグラウンドになっていて家庭内職にもその仕事が入りこんでいる、昭和廿四年この製品が飛ぶように売れた好況時代があった、そこで土地のボス的親会社M製綱でも十六ミリ映写機を買いこんで"社員家族慰安映画会"なるものを催したことがあった、ところでそのプログラムが何と『オール忠臣蔵』の十六ミリ版だったというから徹底している、古くは尾上松之助から阪妻、大河内、千恵蔵など赤穂浪士の"サワリ"ばかりを上映したわけだ、おかげで大被害を蒙ったのはちょうどこの近郊に一座を組んで回っていた沢田清で、その日一日はガラガラの不入りでお手上げだったという

近畿

このように土地の人が昔からの伝統と出身者を大切にするのは、何処へ行っても話だが、最近東宝から『宮本武蔵』ロケで姫路に行った三船敏郎、八千草薫などの一行もその点大変だったそうだ、何しろ姫路城といえば国宝だし、戦時中の手入不足もやっと近頃補ったばかりだ、そこで天然色のライトが多すぎるから注意しろ、あまり多勢で天守閣に登られたら困るなど、何ヵ条かの契約書を調印してから撮影を始めたのだが、こうなると地方の人々との交渉する製作主任も大変なわけだ、大体ロケ地が決って、土地の人々との交渉一切から宿屋の渡りまで話合いをつけるのが製作主任の役目なんだが、その男の器量いかんでロケが楽しいものにも、つらいものにもなるというロケーション・マネジャーも兼ねている、そこで融通のきかないのに当った時は

『ロケ・マネさん、アッシ等はオマンマだけでいいけれど、キャメラやレフは"米のお水"も飲ませないと明日は太平洋がないよ』

なんて皮肉も飛び出すことになる、"太平洋"というのは空に雲が無い晴天のことなんだが、裏方連にこうヘソを曲げられたらどんなにピーカン(晴天)が続こうとダラダラとロケが長くなるという仕掛けになっている、従って製作主任は相当なベテランで頭の切れる男でないと勤まらないが、昨年新東宝で福井県の東尋坊岬にロケーションした時に、この製作主任で鹿島誠也氏なる青年が自殺したことがあった、原因は神経衰弱ということになっているが、その裏面には何かと噂もあることだ、さて何が彼をして自殺にまで追いこんだか?(ふ)

写真 上から阪東妻三郎、沢田清、八千草薫、三船敏郎

問題よぶタイハイ歌曲

QRにはじまった放送各局の『エロ歌謡締出し』旋風は、その後すっかり収まったかたちだが、それとはまた別な意味でタイハイ的な歌謡曲が各社新譜の中から飛出して来て、問題を投げかけている、その二、三を拾ってみると…

これでは家出の奨励 指弾うく『東京へ――』

▽…最近もっとも各方面から指弾を受けたのは、テイチクが正月新譜で出した六久保正弘作詞、平川浪竜作曲、真木不二夫歌の『東京へ行こうよ』である、その歌詞の一番は

へ東京へ行こうよ、東京へ、思うだけではきりがない、行けば行ったで何とかなるさ、未練でこころも故郷も、捨てて行こうよ夜汽車で行こう

というので、M紙が『家出奨励のような歌、エロ歌よりもっと悪い影響がある』と評し、Y紙が『作詞者の社会的良識を疑いたくなる』またT紙が『田舎の青年を扇動するような作詞は罪が深い、流行歌の健全化を阻むもの』と揃って攻撃の矢を向けている

へ人眼しのんで諦めて、今夜発とうよ、二人で発とう

という二番は家出奨励歌(H紙)と断定されているわけだ

上から真木不二夫、コロムビア・ローズ、青木はるみ、楠トシエ

子供に悪影響の『ナンキンオマメ』

▽…囃し言葉で話題になっているのが二つある、コロムビアの一月新譜、関沢新一作詞、細田義勝作曲、コロムビア・ローズ歌の『チャミオレン』とビクターの一月新譜、佐伯孝夫作詞、宮城秀雄作曲、青木はるみ歌の『お二人さん節』がそれ、前者の歌詞は

へあのネ、あのあの肩よせて、あとはいえずに あのね ののの字、火ばしで書いてる初心な仲、そっと抱かれりゃ恥しい、炭がまっ赤に身を染める、チャミオレンく、ミチャオレン、チャミオレンく、ミチャオレン

……ない囃子言葉だとはいうものの、子供が覚えて『ナンキンオマメノツナワタリ』などといっている図はあまり戴ける風景ではなさそうだ

わけのわからぬ『銀座おてもやん』

▽…トニー谷の操るトニーグリッシュを百%とり入れて、ウルサ方にしかめッ面をさせたのがテイチクの池田功作……

われながら見事じゃ ―人形作りのレントーニ爺―

『ウン、われながら見事じゃ、わしももう少し若けりゃな…』といったような風情【写真はAP特約】

花柳界出身の裸姫がデビュー フロアショウから二人の転向組

変り種の多いストリップ界にこれはまた珍らしい花柳界出身のストリッパーが八日浅草座からデビューした、彼女の名は武本みつ枝、芸名はまだ考慮中というが深川生れでバレーボールで有名な中村高女の出身、女学生時代から彭城秀子門下で踊りを習い進駐軍のクラブ回りのショウなどに出演しているが劇場の舞台ははじめて、四年前家庭の事情で深川の花柳界に身を投じていたという

『マル四年働いて稼いだ先達てです、日本舞踊の流を習いました、ところや名前はいゝたくありません、こゝでは日本舞踊をとり入れて何か新しいものをやってみたいと思っています』

とハキハキした口調で語る、が当年廿三歳

このほかにハーヴァ町子、葵マリの二人の新人もデビューしたが、彼女らはキャバレーのフロアショウからの転向組

写真は左からハーヴァ町子、葵マリ、武本みつ枝

おしゃべり横丁

早速！ボクの農業政策が失敗したら鳩山さんに辞めてもらおう ―河野農相

名選都々逸　石井さんが選

ラジオを聞いてる置炬燵　墨田・良坊

一人で入るにやきまりが悪いアベックばかりが多い店　武蔵野・米島住郎

いつそこのまゝうずめてほしい二人へ嬉しい牡丹雪　越後・今井ちさと

加減が出来ない若さがあって裸になっても逢いに行く　佃島・扇童

たまに逢うのにお天気までが邪魔して今夜も雪と風

選者

▽…『亡命記』のロケで香港行の近い佐田啓二が、ちょっとのひまをみつけて信越にスキーに行った、かねがね彼自身も『スキーは得意で、山スキーからゲレンデスキー、ことスキーに関する限り十二章は熟知している』と豪語していたのだが…

▽…さて彼が帰ってきた姿を見ると、哀れ左脚はネンザ、おまけに鼻風邪をひいたらしく、クシャン、クシャンとあたら二枚目もだいなしの有様、これで彼の『スキーに関する十二章』もまるで信用がなくなったわけだが、以来彼『亡命記』のスタッフをみかけると『早く香港へ行こうじゃないか』とせきたてている、これが本当に佐田の『亡命記』"下手な横スキー"のお話です【写真は佐田啓二】